

2025 年 5 月 27 日

新居浜工場竣工記念式典を開催

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、車載用二次電池の材料（正極材）を生産する新居浜工場（愛媛県新居浜市）の竣工記念式典を 5 月 23 日に開催いたしました。式典には、経済産業省、愛媛県、新居浜市などの行政・地域の関係者や、取引先、住友金属鉱山グループ関係者など約 60 名が参加しました。

新居浜工場は、「高い品質管理を実現し、高効率な生産性と設備稼働率を有するスマート工場」をコンセプトに建設され、生産性向上を図るための最適なレイアウトや自動搬送システム、省力化と物流コスト低減を実現しています。また、工場の屋上には太陽光パネルを設置し、発電した電力を全て自家消費することで、温室効果ガス（GHG）排出量の削減を図り、環境への負荷を抑える取り組みも行っています。

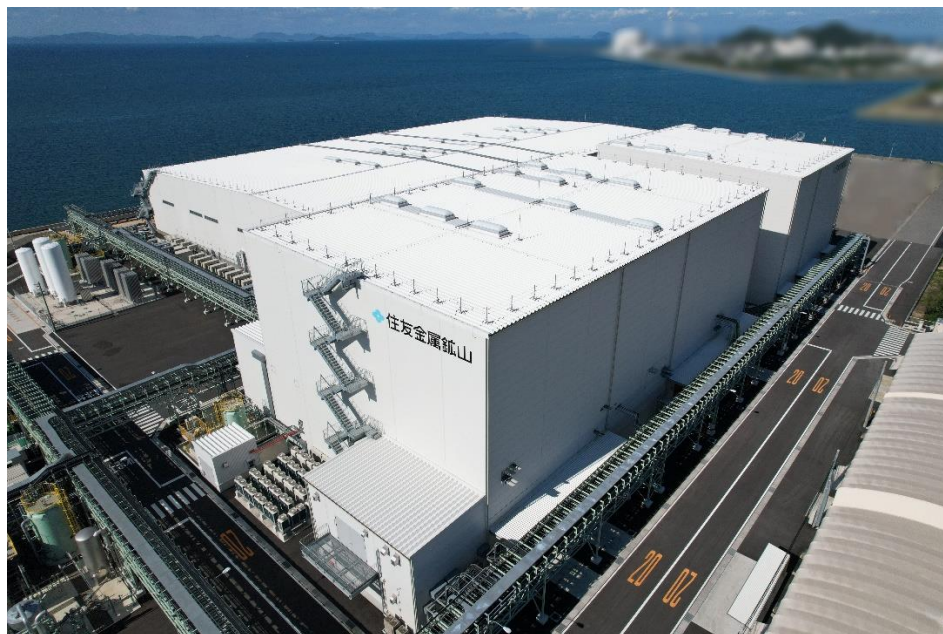
式典では代表取締役社長の松本伸弘が、「新居浜工場は、電池事業の今後の展開において極めて重要な拠点として位置付けています。この新拠点の稼働をひとつの節目として、この市場で確固たる地位を確立していく所存です。そして、これからも低炭素貢献製品の供給を通じて社会に貢献し、お客さまに信頼されるパートナーであり続けることを目指してまいります」と述べました。

住友金属鉱山は、今後も自社の粉体合成・表面処理技術、乾式・湿式製錬技術を活かしてカーボンニュートラル社会に貢献できる電池材料の開発・製造・販売に取り組み、企業価値の向上に努めてまいります。



テープカットの様子

（左から、住友金属鉱山株式会社 新居浜工場長 小田周平、三井住友建設株式会社 三森義隆 執行役員副社長、パナソニック エナジー株式会社 渡邊庄一郎 副社長執行役員、住友金属鉱山株式会社 代表取締役社長 松本伸弘、経済産業省 商務情報政策局 電池産業課 青木洋紀 課長、経済産業省 四国経済産業局 小山和久 局長、愛媛県 菅規行 副知事、新居浜市 古川拓哉 市長）



新居浜工場外観

【新居浜工場概要】

生産する製品：車載用二次電池向け正極材

投資決定：2021年7月

商業生産開始：2025年1月

投資額：プロジェクト総額470億円（既存拠点の設備増強等を含む）

＜本件に関する報道関連のお問い合わせ＞

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705